

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度(評価)  
 A: 十分達成できている  
 B: おおむね達成できている  
 C: やや不十分である  
 D: 不十分である

学校名	唐津市立湊中学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>「授業の導入の工夫」を軸とした授業改善が効果を奏したが、次年度は「授業のまとめ」を効果的にする手立ての研修を行い、湊小学校との連携を一層深める。</li> <li>生徒理解を進め、特別支援教育の充実を図る。</li> </ul>
2 学校教育目標	他者を尊重し、21世紀を共に逞しく生き抜く力を育てる。
3 本年度の重点目標	①導入の工夫とまとめを意識した「わかる授業」の実践・改善を行い、確かな学力を育む。 ②教育全体を通して豊かな心を育み、共に成長できる学校づくりを行う。

4 重点取組内容・成果指標 5 最終評価

(1)共通評価項目				最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組		具体的取組	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言
	取組内容	成果指標(数値目標)					
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・学力向上のため、毎日の課題(漢字・英単語・数学・自学)に取り組み、漢字・英単語は毎時間小テストを実施し、また数学はみなとタイムで毎週、計算ドリルに取り組み、基礎学力の定着を図る。 ・月1回のペースで全教諭が校内研究授業を行い、導入の工夫と運動したまとめを意識した実践を積み、指導法の改善を図る。	A	・学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師は、80%を超え、学校での学習が役に立ち、授業に意欲的に取り組んでいると答えた生徒も90%を超えている。課題は、1年生の授業の指導法の改善を全職員で検討、実践していくことである。	A	・授業参観で、先生が、熱心に生徒に対応する姿が見られた。 ・学力向上に熱心に取り組んでいるが、生徒にとって過度になりすぎないように注意が必要。 ・全職員で目標に取り組み、数値にも成果が見えているので、継続してほしい。
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートに置いて肯定的な回答をした生徒85%以上	・人権に関する講話や道徳に関する話をし、アンケートを実施する。 ・道徳の授業に関する校内研修等を実施する。	A	・すべての先生が道徳の授業をする中で、個々の生徒の特性などを把握し、授業の中でもみんなにメッセージの送り方や、生徒指導で配慮する声の投げかけ等に配慮できた。 ・道徳に関するアンケートに置いて、肯定的な回答をした生徒は、94.4%であった。	A	・生徒の個性に合った接し方をされている。 ・人権に関することは機会あるごとに繰り返し学ぶことが大切であり、肯定的な回答をした生徒が94.4%なので良い。
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○「先生はいじめに対応してくれる」とする生徒を85%以上にする。	・道徳や学活等において人権感覚醸成に資する題材を定期的に取り扱うことを通して、いじめの予防に努める。 ・生徒に関しては、毎月の生活アンケートや学活ノート・日々の観察や教育相談等により問題の早期発見に努める。 ・保護者に対しては、保護者アンケートや面談等の機会を利用して情報収集と連携に努める。	B	・12月のアンケート結果より、プラス評価が83.3%であり、前回より1.6%増えたが、85%に達することが出来なかった。 ・1月にいじめに関する研修会を実施し、いじめに関する認知を深めることができた。	A	・少人数校で、クラス替えがなく、人間関係がマンネリ化している。 ・いじめの早期発見に努力してもらっているので、今後も継続してほしい。 ・道徳教育の充実で、いじめを少なくする意識を、生徒個々に持たせることが必要である。
	◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした生徒(中学3年生)90%以上	・こまめな個人面談等の実施によって、生徒個々の能力・適性等に応じた進路指導を充実させる。 ・高校における学科の特徴などの情報提供や職業体験等を通して、生徒の進路意識を高める。	B	・「将来の夢や目標を持っている」について肯定的であると判断できる生徒は、3年生93.8%、2年生60%、1年生69.6%である。 ・各学年で意識を高め、3年生は面接練習、2年生は高校調べ、1年生は職業調べでより具体的な学習へつなげた。 ・学年末にキャリアパスポートを活用し、次の学年でのより具体的な進路目標設定を行った。	B	・中学生の将来の夢や目標は、指導されることで大いに変わると思う。 ・3年生の数値が高いのは、日頃の成果である。2年生にも、夢や目標をもっと持ってほしい。 ・夢や目標を持たせるために、色々な職場体験や、講話を聴かせてほしい。
●健康・体づくり	③「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	③「健康に食事は大切である」と考える児童生徒85%以上	・生徒に対して、生徒会生活保健部を中心として、生徒への啓発活動を行なう。 ・保護者に対して、PTA総会、地区懇談会、面談等を通して、基本的な生活習慣の確立が子供たちの心身の健全な発達に有効であることを伝えるなどの啓発活動を行っていく。	B	・12月のアンケートの結果「早寝・早起き・朝ごはん」運動を実践し、健康や体づくりに努めていると思う。生徒83.3%であった。まだ、目標に1.7%届いていないが、8割の生徒が概ね対応してくれと回答している。今後も継続的に啓発を行っていく。	B	・継続的な啓発活動をしていくしかない。 ・グラウンドを走る生徒の姿が、よく見かけられた。 ・家庭の食事情は様々であるだろうが、自校給食なので、美味しい昼食をとれることが良い。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日を水曜日に設定する。 ・学校開庁日を8月13,14日に設定する。 ・部活動休養日を第一水曜日に第三日曜日に設定する。	A	・全職員の時間外勤務時間の平均20時間 ・部活動休養日については、毎月県と市の一斉停止日、水曜日、土日いずれかの日に設定し、遵守した。	A	・先生の業務は、もっと一般的に知らしめるべきである。 ・「時間外勤務なし」で、生活できる様になってほしい。 ・仕事が多い中、勤務時間厳守は厳しいと思うので、無理せず頑張ってもらいたい。

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・全教員が授業を公開し、「授業の導入の工夫」や「授業のまとめ」について校内研修で協議し、「わかる授業」の実践・改善に取り組むことができた。 ・毎月の生活アンケートや生徒指導協議会を実施し、生徒についての理解を深めた。 ・次年度も引き続き、特別支援教育の視点から生徒理解に努め、教育活動を通して豊かな心を育み、共に成長できる学校作りを行いたい。
--------------------	---